

## 自閉症・発達障害への“訓練”を考える

発達障害者支援法、そして障害者自立支援法の成立もあって、知的障害や自閉症と言われる人たちへの自立、就労に向けた意識が高まっています。子どもの世界では早期療育、早期訓練が強調されています。障害を持つ親御さんには我が子に良く育って欲しいという切なる願いがあります。しかし、それはうまくいっているのでしょうか。少しでも自分の子どものためにという親御さんの思いに支援者はどう応えればよいのでしょうか。また本人の意思を確認しにくい人たちへの教育や訓練は特に難しさがあると思います。場合によっては訓練を受けている側が一方的な圧力を感じ、訓練の弊害が大きくなってしまふこともあり得ます。

訓練というものをどう考えたらよいのでしょうか。今回、サポート研第三研究委員会は、自閉症・発達障害児者への訓練に焦点を当て、訓練の必要性を吟味し、訓練に至るための基盤となるものの重要性、訓練と関係性の問題などについての議論を深めたいと思います。

関心のある方はぜひお集りくださいますようご案内いたします。

### ・学習会の内容

課題整理 安藤真洋(東京・地域生活支援センターびーと)

話題提供 岡部知美(東京・リソースセンターいなっふ／親)

加藤啓一郎(大阪・風の輪)

金沢信一(東京・日の出福祉園)

### ディスカッション

・日時、9月23日 日曜日 13時から17時まで

・場所、武蔵野障害者総合センター

(武蔵野市吉祥寺北町 4-11-16、三鷹駅下車①番バス、緑町住宅下車、歩1分)

・参加申し込み

メールでお願いします→ [beat\\_ando@parkcity.ne.jp](mailto:beat_ando@parkcity.ne.jp) (安藤まで)